

令和 5 年度

業 務 番 第 270 号

町道路面性状調査業務委託

特 記 仕 様 書

青森県 上北郡 おいらせ町 上明堂 外 地内

おいらせ町

第 1 章 総 則

第 1 条 適用

本特記仕様書は、町道路面性状調査業務に適用する。

第 2 条 共通仕様書等の適用

本業務の施行にあたっては、青森県県土整備部制定「測量作業共通仕様書」（令和 4 年 10 月）、「共通仕様書（測量業務等編）」（令和 4 年 10 月）「地質・土質調査共通仕様書」（令和 4 年 10 月）、東北地区用地対策連絡会制定「共通仕様書〔用地調査並びに算定編〕」（平成 30 年度以降）によるほか、特記仕様書にもとづき実施しなければならない。

共通仕様書と特記仕様書が一致しない条項は、特記仕様書が優先する。

第 3 条 目的

本業務は、おいらせ町管内の町道の舗装の長寿命化・ライフサイクルコスト（LCC）の削減など、効率的な維持管理および修繕の実施を目指し、舗装路面の現状把握に必要な調査を行うことを目的とする。実施にあたり本特記仕様書及び設計図書に明示なき事項、または疑義を生じた場合には調査職員と協議の上これを定めるものとする。

第 4 条 測量作業計画

本業務における測量作業計画書は、当初打ち合わせ後速やかに提出するものとする。

第 5 条 打合せ

本業務における打ち合わせは、当初、測量作業中及び成果品納入時とし、計 3 回とする。

第 6 条 手直し

受注者は業務の実施に先立ち、あらかじめ業務計画書を作成し、調査職員に提出しなければならない。

第 7 条 関係官庁の手続き等

業務履行のために必要な関係官庁等に対する諸手続きは、受注者の責任において迅速に処理する。

第 8 条 諸法規の遵守について

受注者は業務履行にあたり、諸法規を遵守し業務の円滑な推進を図るとともに、諸法規の運営適用は受注者の負担と責任において行わなければならない。

第 9 条 交通安全管理

本業務の調査業務の履行にあたっては交通状況を十分に把握し、調査員の人身事故はもとより第三者に危害を及ぼさないよう万全の措置を講じなければならない。

第10条 履行期限

本業務の履行期限は令和6年1月31日までとする。

第11条 履行報告

受注者は、契約書第15条の規定に基づき、履行状況を別に定める様式に基づき作成し、調査職員に提出するものとする。

第2章 業務内容

第1条 作業項目及び数量

本業務は、舗装点検要領〔国土交通省道路局〕及びおいらせ町舗装維持管理計画に基づき実施するものであり、作業項目及び数量等については次のとおりである。

作業項目	作業内容	数量
路面性状調査		L=84.45 km
路面性状調査	ひび割れ率、わだち掘れ量及び縦断凹凸を測定する	1式
路面性状値	共用性の評価として、100m区間毎の路面性状値（維持管理指数）を算定する。	1式
路面性状	舗装状況の把握と維持修繕計画の基礎資料とするため、路面性状（維持管理指数）ランク図を作成する	1式
報告書とりまとめ	舗装点検要領に基づき、舗装状態の健全性の判断を行う。 作業の点検、照査とりまとめ及び報告書作成を行う。	1式

第2条 参考図書

本調査の参考にする図書は、共通仕様書によるほか、次によるものとする。

名 称	発行所	制定年月
1. 舗装工事設計の手引き（平成23年度）	青森県県土整備部	H24年2月修正版
2. 舗装調査・試験法便覧	（社）日本道路協会	H19年6月
3. 総点検実施要領【舗装編】	国土交通省 道路局	H25年2月
4. 舗装点検要領	国土交通省 道路局	H28年10月

第3条 作業の留意点

路面性状調査の実施に際し特に留意する点は、次のとおりである。

1 現地踏査準備

受託者は、調査路線の起終点等を道路台帳により位置を確認し、距離の算定を行う。
また、路面性状調査作業に先立ち現地調査を実施し、区間起終点、構造物等が確認できるように必要に応じて路面にマーキングを行い、同時に写真撮影すること。

2 路面定量調査の測定方法

ひび割れ、わだち掘れ量及び縦断凹凸の測量区間の単位は100mとし、その区間の対象車線全面を評価するものとする。ひび割れの測定縮尺は、ひび割れを確実に解読できるよう適切な値とする。また、わだち掘れ量の測定縮尺は、わだち掘れ量を確実に測定できるよう適切な値とする。縦断凹凸の測定は、外側のわだち部を測定する。なお、現地での測定時には、随時測定位置と道路台帳とを確認し、距離誤差の低減を図る。また、測定作業に使用する計測車は、財団法人土木研究センターの性能確認証書により、その性能（距離、ひび割れ、わだち掘れ、縦断凹凸（平坦性）のすべてに合格したもの）を証明されているものとする。

3 処理及び編集

各測定記録は、速やかに処理を行い、品質管理を厳重にするものとする。処理後、各測定記録の点検を行い、解析等に支障がある場合は、再測定を行うものとする。

4 解読及び計測・計算

ひび割れ解読、わだち掘れ計測は、次の項目について求めることとする。

- (1) ひび割れ面積 (㎡)
- (2) パッチング面積 (㎡)
- (3) ひび割れ長さ (m)
- (4) わだち掘れ最大値 (mm) (1断面2データ)

平坦性の解読は、記録データに任意の基準線を設け、少なくとも1.5m間隔で基準線よりの波高を読み取る。

5 路面性状値

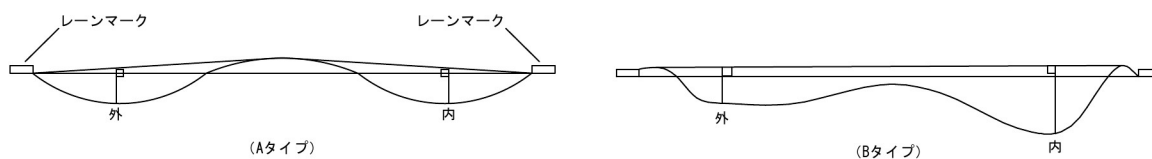
計測したデータに基づき、それぞれのひび割れ率、わだち掘れ（平均、最大）、平坦性（標準偏差）を算出する。

6 ひび割れ率の算出

ひび割れ率の算出は、次式に基づき電子計算機を使用して算出するものとする。

$$\text{ひび割れ率 (\%)} = \frac{\text{ひび割れ面積 (㎡)} + \text{パッチング面積 (㎡)}}{\text{調査区間の面積 (㎡)}}$$

なお、平均ひび割れ率を以下の基準により評価する。



判定基準	判定
ひび割れ率 20%以下	損傷度小
ひび割れ率 20～40%	損傷度中
ひび割れ率 40%以上	損傷度大

8 わだち掘れ計測

わだち掘れの読み取りは下図に示すとおりとする。

なお、平均わだち掘れ量を以下の基準により評価する。

判定基準	判定
わだち掘れが小さい (概ね 2 cm以下)	損傷度小
わだち掘れがやや大きい (概ね 2～4 cm)	損傷度中
わだち掘れが著しい (概ね 4 cm以上)	損傷度大

9 縦断凹凸（平坦性）の算出

縦断凹凸は、各区間の少なくとも 1.5 m 間隔で読み取ったデータの標準偏差を計算し、その区間の平坦性の測定値とする。平坦性の算出は、次式に基づき電子計算機を使用して算出するものとする。

10 路面性状調査の取りまとめ

路面性状調査の評価は、「舗装工事設計の手引き（青森県県土整備部）」発行の維持管理指数により行う。

$$MCI = 10 - 1.48C^{0.3} - 0.29D^{0.7} - 0.47\sigma^{0.2}$$

$$MCI0 = 10 - 1.51C^{0.3} - 0.30D^{0.7}$$

$$MCI1 = 10 - 2.23\sigma^{0.3}$$

$$MCI2 = 10 - 0.54C^{0.7}$$

ここに、MCI：維持管理指数

C：ひび割れ率（%）

D：わだち掘れ量（mm）

σ：縦断凹凸（平坦性）（mm）

なお、維持管理指数（MCI）は、上記算定式で算出した値のうち、最も小さい値とする。

1.1 維持管理指数（MCI）ランク図作成

舗装状況の把握と維持修繕計画の基礎資料とするため、維持管理指数（MCI）ランク図を作成する。図面は、発注者の指示する方法によって作成するものとする。また、第7項～第9項の判定基準と併せてランク図を作成すること。

1.2 出典の明示

特記仕様書及び共通仕様書に示す参考資料、貸与資料並びに受注者が有する資料等を参考にした場合は、その出典を明示するものとし、その写しを添付すること。

1.3 報告書の作成等について

電算機を使用する場合は、計算手法及びアウトプット等の様式について事前に説明すること。報告書には、調査方法、調査結果及び解析に至るまでの検討内容をわかりやすくまとめる。

第3章 成 果 品

第1条 成果品の提出

1. 成果品は共通仕様書で定める他、次のものを提出すること

成果物名	規 格			部 数	備 考
	サイズ	縮 尺	仕上げ		
1. 報告書	A-4		A4 縦	1 部	
2. 現場写真				1 部	
3. 電子成果品	CD-ROM			1 部	

第2条 提出書類

共通仕様書に定める提出書類のほか、別表に定めるとおりとする。

第3条 その他

1. 受注者は、契約時又は変更時において、請負金額 100 万円以上の業務委託について、測量調査設計業務実績情報サービス（TECRIS）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として「業務カルテ」を作成し、調査職員の確認を受けたうえ、受注時は契約後、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、登録内容の変更時は変更があった日から、土曜日、日曜日、祝日等を除き 10 日以内に、完了時は業務完了後 10 日以内に、訂正時は適宜(財)日本建設情報総合センターにフロッピーディスク又はオンラインにより登録申請しなければならない。また(財)日本建設情報総合センター発行の「業務カルテ受領書」が届いた際には、その写しを直ちに調査職員に提出しなければならない。なお、変更時と完了時の間が 10 日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

2. 完成検査の予定については、実施予定の前月 15 日までに予定日を調査員に報告のこと。

別表

契約書に基づいて提出する書類

提出区分	名 称	提 出 期 日	部数	条項	備 考
○	業 務 工 程 表	契約後 1 4 日以内	1 部	3 条	
○	管 理 技 術 者 通 知 書	契約締結後及び変更時	1 部	10 条	
○	管 理 技 術 者 経 歴 書	〃	1 部	10 条	
○	照 査 技 術 者 通 知 書	契約締結後及び変更時	1 部	11 条	
○	照 査 技 術 者 経 歴 書	〃	1 部	11 条	
○	業 務 履 行 報 告 書	毎月一回、調査職員の指定日	1 部	15 条	
○	履行期間の変更請求書	必要が生じた時遅滞なく	1 部	22 条	
○	完 成 届	履行期限まで	1 部	31 条	
○	請 求 書	業務完了検査合格後	1 部	32 条	

仕様書等に基づいて提出する書類

提出区分	名 称	提 出 期 日	部数	条項	備 考
	支 給 材 料 受 領 書	引渡後遅滞なく	1 部	7 条	
	貸 与 品 借 用 書	〃	1 部	7 条	
	支 給 材 料 清 算 書	業務完了時	1 部	7 条	
	支 給 材 料 返 納 書	〃	1 部	7 条	
○	測量作業に関する承諾書	必要の都度	1 部	13 条	
○	測量作業に関する協議書	必要の都度	1 部	13 条	
○	測 量 作 業 計 画 書	契約締結後 15 日以内	1 部		
○	事 故 報 告 書	事故等が発生した時	1 部		
○	テクリス登録内容確認書	請負金額 100 万円以上 契約締結後、変更時、完了時、 登録後速やかに	1 部		
	その他特記仕様書で定めた書類		部		

おいらせ町財務規則に基づいて提出する書類

提出区分	名 称	提 出 期 日	部数	条項	備 考
○	着 手 届	着手時	1 部	158 条	